

展望所

この景観の良いスポットからは、石灯籠の一群を見下ろすことができます。これらは徳川家への忠誠を示す、大名寄進の石灯籠です。大猷院中にはこれに類似した灯籠が見受けられ、寄進する人の地位や富に従って配列されています。霊廟の方に向かって高く進めば進むほど、灯籠はより大きくより壮大になります。最も霊廟に近い場所では、金属細工の灯籠も見受けられます。これは(当時の日本)国で最も強く最も裕福な臣下からの寄進です。ちょうどこの展望所の下に設置されている灯籠は、低位の大名からの寄進物で、それゆえ展望所があるこの地点まで進むことが許されませんでした。展望所があるこの場所から下への眺めは、天上から人間社会を見下ろすことに例えられています。